

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

保育園入園相談 働き続けるか止めるか悩む

認可保育園の増設は急務

子そだてと仕事の両立求め保育園をさがし歩いた時、子どもをここに預けてまで働きたいと主張していいのか悩んだ—と話す母親。保育園つくれの運動今こそ。

認可保育園には入れず
4ヶ所の保育園を見て回る

今年4月に、公立保育園（認可園）に子どもを入園させたいと申し込んだものの入れず、困り果てて、やむなく育児休暇の延長を職場にお願いした。その後、認可保育園にこだわっていたらみつからないので、預けられるところを探し歩いた—と話すのは金融機関に働く母親。

職場では、仕事をこなせる中堅として面白くなっている。ので「止めたくなかった」。しかし、「4ヶ所探した保育園はどこも預けたいとは思えなかった」という話を聞くと、正直驚きました。

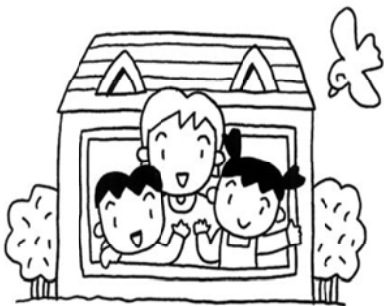
えっ！ ここで昼寝？

狭い所に異年齢が大勢

「保育園のネーミングはいけど見るとビックリ」と母親は続けます。狭い部屋に0

歳から5歳の子どもが一緒に遊んでいました。「つい、えっ、ここで昼寝をさせるの？ 立って寝かせているのかしらと正直思いました」と言うのに、聞いていた南はビックリ。「情けなくなり、ここに預けてまで働きたいと主張しているのだろうかと思ひました。」

南も35年前初めて出産した時、保育園に入園させて働くのは当然と思っていたものの、正規職員でもなかなか入れない時代でした。しかし、保育園増設を求めて運動する中で、正規で働いていて保育園を選ばなければ4月には大体入れる状況でした。もちろん「劣悪な環境」の保育園はありましたが。



子育てと仕事の両立 は当たり前前のごとく

男女共同参画、ライフワークバランス、少子化社会対策基本法など、女性が働くことは当たり前前の社会になりつつあると思っていました。法整備も進みつつありますが、社会参画に必要な子どもを預ける施設の不足は決定的な遅れです。

仕事や社会参画は女性にとつて「わがまま」なことではないのに、そう思わせてしまうのは本当に許されないことです。社会参画に必要な施設整備をしっかりと進めなくてはなりません。その第一が保育園増設です。安心して働き、子どもの成長を確かにすすめる保育園は公共の責任です。

新政権が基準の引き下げ 子どもの命の問題

民主党政権は、保育所最低基準の廃止を検討しています。とんでもないことと反対します。「地方分権」の名の下、終戦直後に作られた基準ですから決して優れた内容ではありません。それなのに、「大都市では地代が高くて園庭が確保できない」「調理室が確保できない」から、なくてもいい保育園にする——ということです。

逆ではないでしょうか。庭もない、陽も当たらない狭い部屋の生活が大半のなか、せめて保育園は走り回れる庭がなければ子どもはどこで丈夫な手足をつくるのでしょうか。最低基準の引き上げこそやるべきです。

後期高齢者医療の保険料が 増額に 廃止もとめる声を広げよう

来年度

後期高齢者医療の保険料は2年ごとに改定されるため、来年4月は値上げになります。厚労省の試算が11月20日発表されましたが、その額は今年度より13.8%高い8556円という高額です。11月9日の時点では12%と発表していました。医療費の伸びが当初試算より大きく伸びてさらに高い試算になりました。

11月5日の厚生委員会でも京都の場合の保険料について報告がありました。

今年度の保険料は、均等割り37800円、所得割り6.56%に設定しており、単身世帯で年収211万円の方は56800円、収入は同じ21

1万円です。2人世帯の場合は、79400円となります。来年度はどうなるでしょうか。単身世帯で年収211万円の方は64500円に7700円アップです。年収211万円の2人世帯の場合は89100円になり9700円もアップします。

これ以上の負担増は許されない

住民税の天引きで高齢者の怒りは大きく広がっています。その上さらに後期高齢者医療費まで大幅な引き上げになると「もう黙っていられない」と「爆発」になるのではないのでしょうか。廃止しかない！

生活・雇用・子そだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523